

[狛江市] 学校運営協議会：議事録

会議の名称	令和7年度第4回一中ゾーン学校運営協議会
開催日時	令和8年2月26日(木) 15時30分～16時35分
開催場所	狛江市立緑野小学校 学習室
出席者氏名	富永 浩正 宍戸 裕子 大塚 直美 愛甲 悦子 内海 貴美 篠宮 悠子 吉田 和夫 荒川 元邦 亀田 親子 岸田 和之
欠席者氏名	長島 理 島本 和彦 増川 邦弘 宗像 直子 亀井 和美 佐藤 淳哉 梅本 ろり絵
傍聴者	0名
議題	1. 1年間を振り返って 2. 各校の学校評価について 3. 次年度の取組について
協議要旨	<p>1. 1年間を振り返って</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CSカレンダーを作成し、3校の連携を図った。「学習者が主体となる学び」をテーマに6つの分科会を設定し、7月に第一中学校、12月に第一小学校で授業公開・協議を行った。また、年間3回の特別支援学級の交流を行った。</li> <li>・管理職の兼務発令を受け、副校長がジョブローテーションを行った。日常の業務や児童・生徒理解につながった。</li> </ul> <p>2. 各校の学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各校の学校評価について資料を用いて説明</li> <li>○各委員より</li> <li>・小中連携が活発に行われるようになった。引き続き情報共有をしながら進めてほしい。</li> <li>・会を重ねるごとに内容が深まっている。ICTの活用についても共有できるとよい。</li> <li>・今後の見通しを踏まえて、先生方のコミュニケーションが活発に行われている。</li> <li>・学校評価の肯定的評価が高いのが地域としても嬉しい。</li> <li>・ジョブローテーションの取組が画期的である。</li> <li>・アンケートのフォーマットが3校共通の方が比較しやすい。</li> <li>・学校評価に配布数・回収数が記載されるとよい。</li> <li>・小学校低学年と中学生には大きな差がある。同じような項目を聞く場合も質問の仕方など工夫が必要。</li> <li>・学校評価も大切だが、行事ごとの評価(コメント)も大切にしたい。</li> <li>・学校評価は、肯定的な点だけでなく課題点にも注目して考えたい。</li> <li>・子どもたちがのびのびと安心して授業を受けられている。</li> <li>・中学生の保護者は学校のことをよく知らないことが多いため、生徒の評価を重視したい。</li> <li>・教員用の評価と生徒・保護者の評価がかけ離れている場合の改善について考える必要がある。</li> </ul> <p>3. 次年度の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども中心の学びを進めていくために年間5回の開催を予定したい。オンラインで実施するなど、方法も工夫したい。</li> <li>・地域と学校の関わり・連携を深めていくために、polyfitの活用を進めたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・さらに小中9年間で児童・生徒を育てていくために、分科会の在り方などを工夫しながら連携を強めていく。</li><li>・地域で児童・生徒を育てていくために、さらにコミュニティスクールを周知していく。マナー化を防ぐために、充実した取組を一中ゾーンが先駆けて取り組む。</li></ul>
--	--